

# みやざき成長戦略会議 (視点)

Makoto Hirata | 平田 実



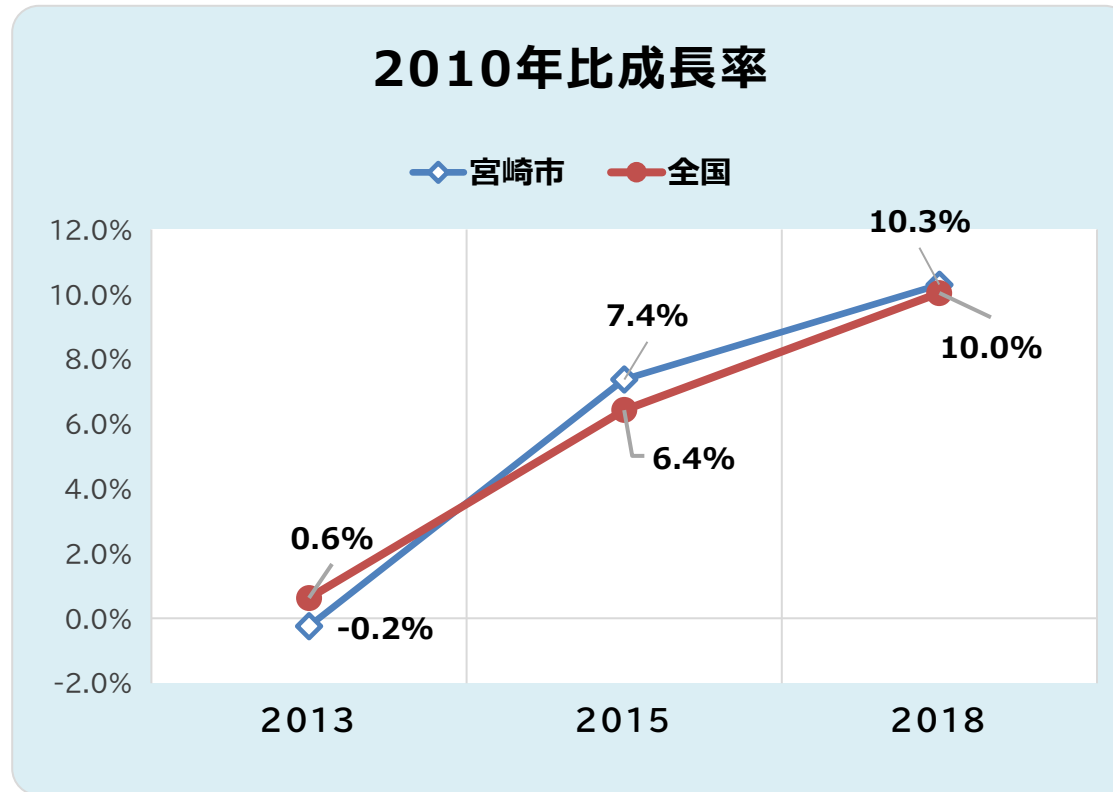
経済産業省  
九州経済産業局

# 宮崎市の状況 RESAS政策データの分析

---

# 宮崎市の成長率は全国を上回って推移

- 宮崎市は、2010年から全国を若干上回るペースで経済成長している。



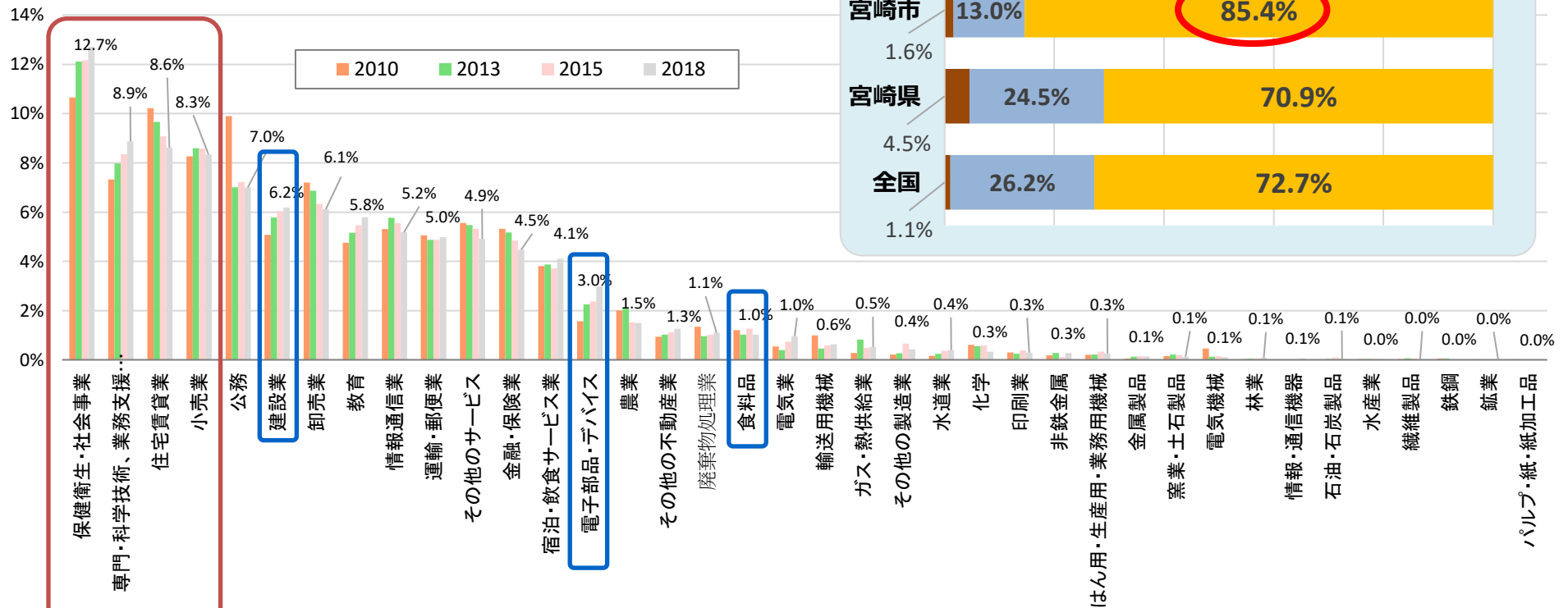
付加価値額 (=名目GRP・GDP)

	2010年	2013年	2015年	2018年
宮崎市(億円)	12,299	12,269	13,206	13,566
(成長率)	-	-0.2%	7.4%	<b>10.3%</b>
全国(十億円)	505,531	508,701	538,032	556,294
(成長率)	-	0.6%	6.4%	<b>10.0%</b>

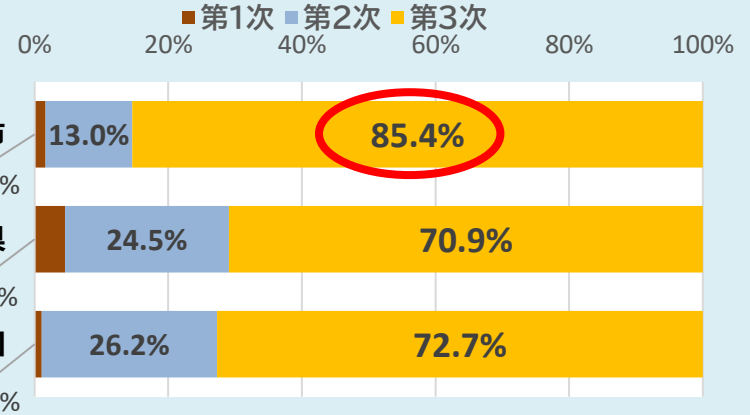
# 宮崎市の産業構造は第3次産業に特化（付加価値額の85%超）

- 宮崎市における産出付加価値額の85%以上は第3次産業によるものであり、**第3次産業に特化した産業構造**である。
- 中でも、「**保健衛生・社会福祉事業**」「**専門・科学技術・業務支援サービス業**」「**住宅賃貸業**」「**小売業**」の割合が高く、かつ前2業種は近年その割合が上昇している。
- 第2次産業では、「**建設業**」「**電子部品・デバイス製造業**」「**食料品製造業**」の割合が高い。

## 産業中分類別付加価値額構成比



## 2018年産出付加価値額構成比較



(出典) 観光省「地域経済循環分析」データを元に九州経済産業局にて加工

# 第二次産業は電子・デバイス産業が存在感

- 内訳は、第2次産業によるものが2割弱を占め、ほかは第3次産業の拡大による（1次産業は減少）。
- 第2次産業は、「電子部品・デバイス業」であるも、ほぼ1社の存在が大きい。

宮崎市 産業大分類別付加価値額（=名目GRP）

		(億円)			
		2010年	2013年	2015年	2018年
第1次	付加価値額	256	266	216	220
	対2010増減額	-	10	▲40	▲36
	対2010成長率	-	3.9%	▲15.6%	▲14.1%
第2次	付加価値額	1,383	1,445	1,731	1,765
	対2010増減額	-	62	348	382
	対2010成長率	-	4.5%	25.2%	27.6%
第3次	付加価値額	10,660	10,558	11,260	11,581
	対2010増減額	-	-102	600	921
	対2010成長率	-	▲1.0%	5.6%	8.6%

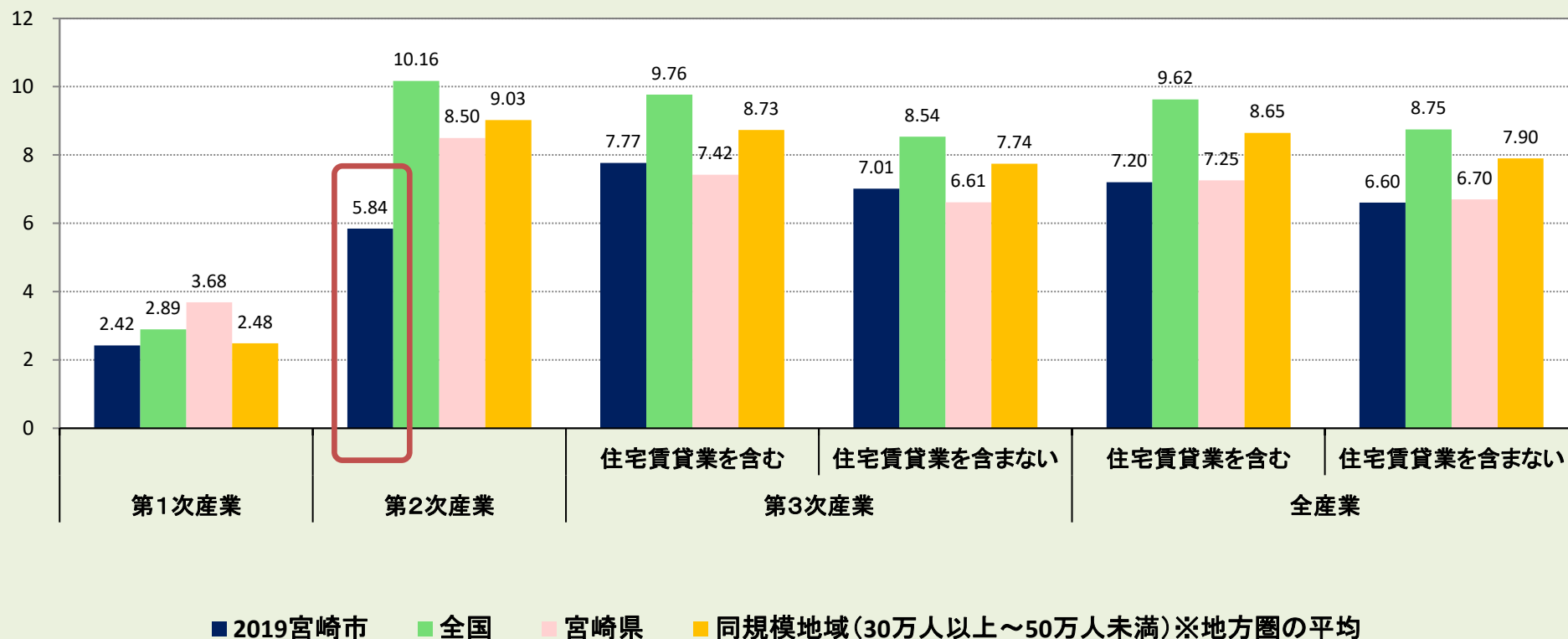
中分類別 2010年比付加価値増加額  
上位5項目

		(億円)
①	保健衛生・社会事業	414
②	専門・科学技術、業務支援サービス業	303
③	建設業	215
④	電子部品・デバイス製造業	211
⑤	教育サービス業	201

# 低い第二次産業の労働生産性

- 宮崎市における一人当たり付加価値額は、第1次産業及び第3次産業においては全国や同規模他地域平均と比して低い。特に**第2次産業においては、県平均と比較しても、また全国や同規模他地域と比較して劣る。**

従業者1人当たり付加価値額 (百万円/人)

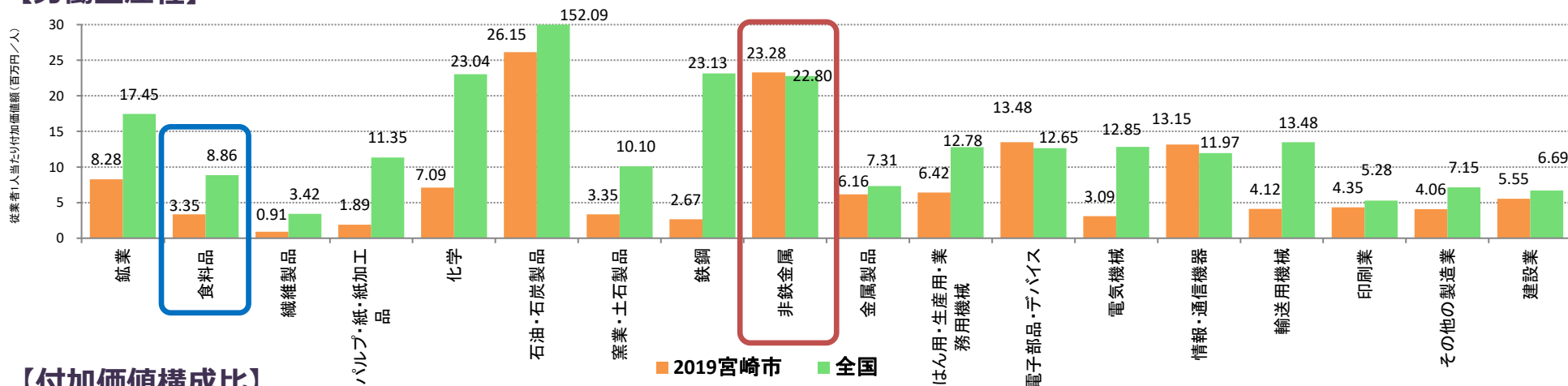


# 業種別生産性分析

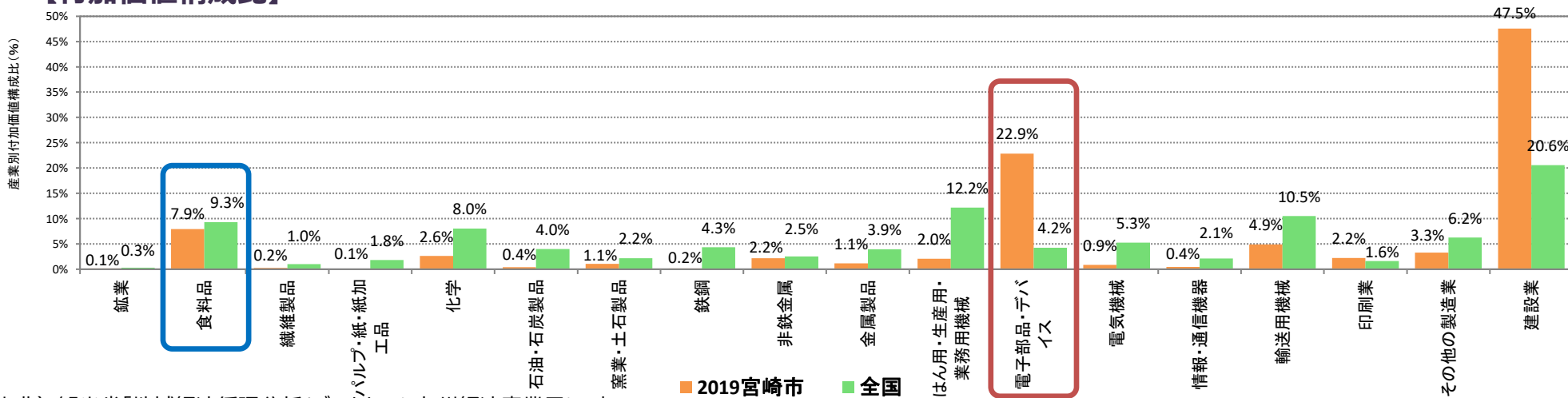
- 宮崎市において、全国平均よりも労働生産性が高い産業は、「**電子部品・デバイス製造業**」と「**非鉄金属製造業**」であり、前者は付加価値構成比においても高い割合を占める。
- 「**建設業**」と「**電子部品・デバイス製造業**」に次いで3番目に付加価値構成比が高い産業は「**食品製造業**」であるが、その労働生産性は全国に比して半分以下と低い。

## 第2次産業における産業別労働生産性及び付加価値の構成比

### 【労働生産性】



### 【付加価値構成比】



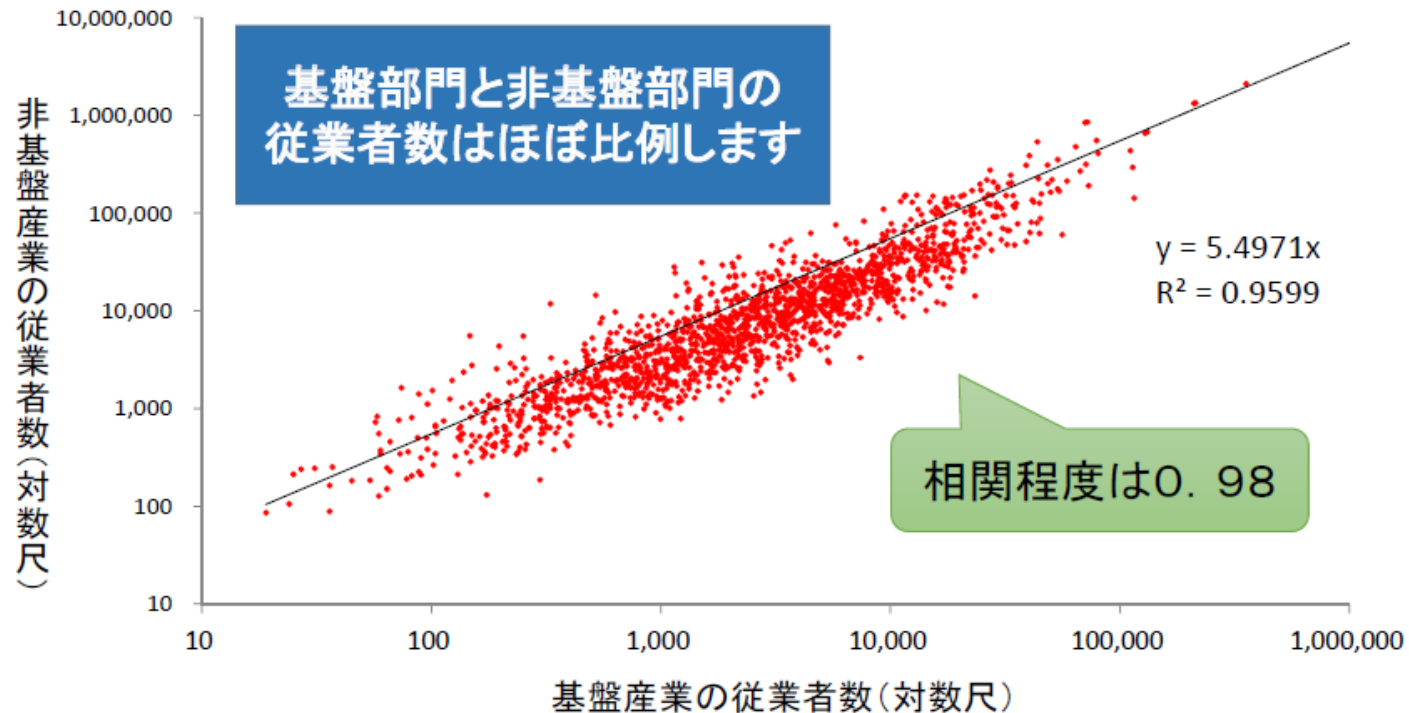
(出典) 観光省「地域経済循環分析」データを元に九州経済産業局にて加工

# (参考 1) 基盤産業と非基盤産業について

・産業分野は、域外から移輸出で外貨を稼ぐことが可能な ①『**基盤産業**』(域外市場産業)と、地域内での資金循環と関わりが深い ②『**非基盤産業**』(域内市場産業)とに分類することが可能。(※注参照)

・構成比率が高い「サービス業」等の『**非基盤産業**』の活性化を図るためには、「**製造業**」等の『**基盤産業**』の活性化を図ることが必要。

- 【① 基盤産業】⇒ 主として **農林水産、鉱業、製造業、宿泊業、運輸業** など  
【② 非基盤産業】⇒ 主として **サービス業(宿泊業以外)、小売業、建設業** など



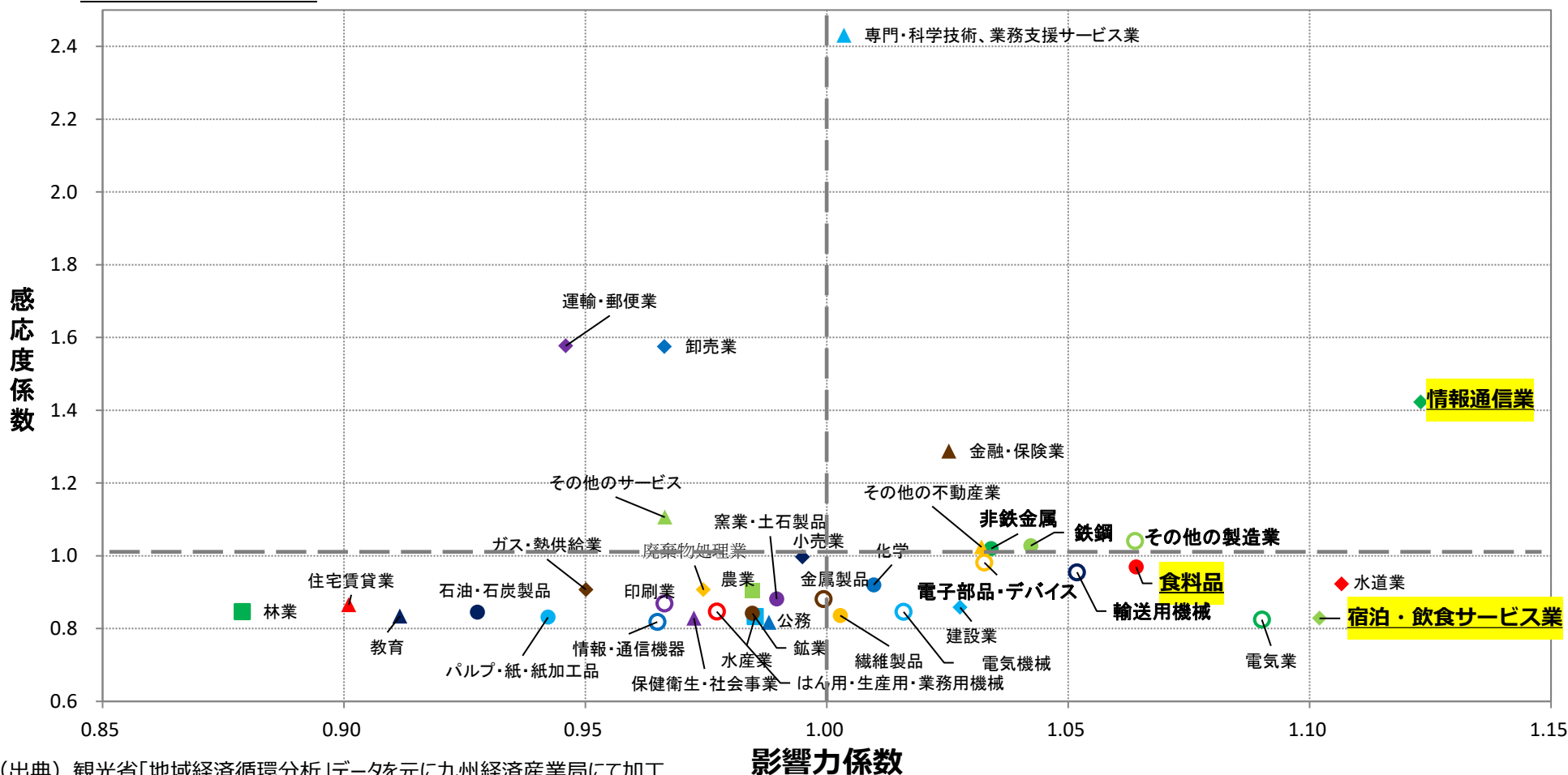
※注) 総務省統計局 講義資料「地域産業構造の見方、捉え方」(中村良平 岡山大学教授) より



# 影響力係数と感応度係数： 高い情報通信業

- 当該産業の売上増減が市内他産業の売上に与える影響力の強さを『**影響力係数**』、他産業からの影響力の受けやすさ（市内他産業を顧客とする割合）を『**感応度係数**』という（※注参照）。
- 両係数ともに高い産業は「**情報通信業**」。『**影響力係数**』のみ高い産業は「**宿泊・飲食サービス**」「**食料品**」であり、これに「**その他製造業**」「**鉄鋼**」「**非鉄金属**」「**電子部品・デバイス**」などがつく。

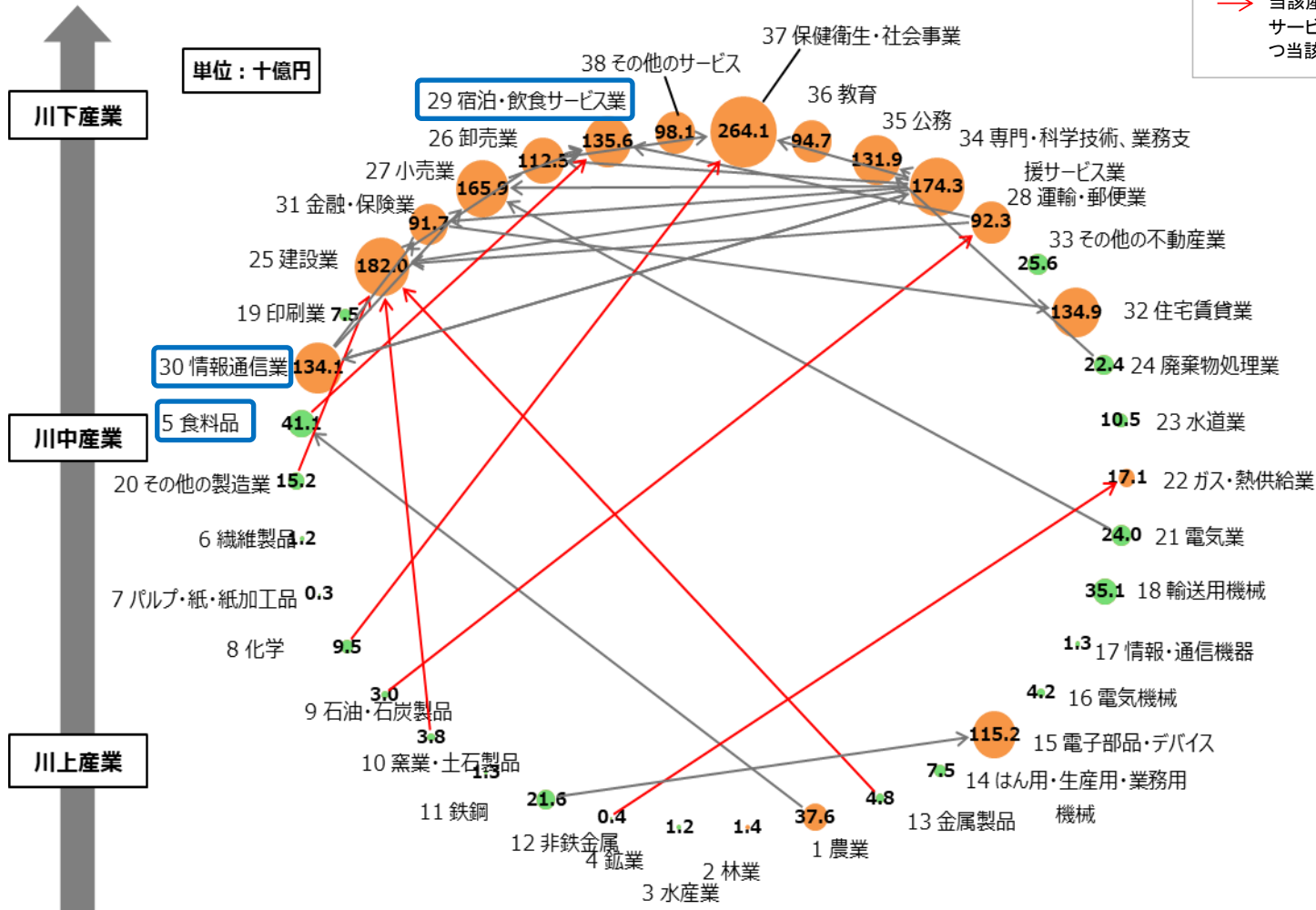
※注) 『**影響力係数**』が高い産業の**売上増**を図る事で、効果的に**市内全体の売上増加**に繋げる事ができ、『**感応度係数**』が高い産業の**競争力を高める**事で、**市内全体の競争力向上**に繋げる事が出来る。



(出典) 観光省「地域経済循環分析」データを元に九州経済産業局にて加工

# (参考2) 市内の産業間取引構造について

## 2018年宮崎市内産業間取引構造



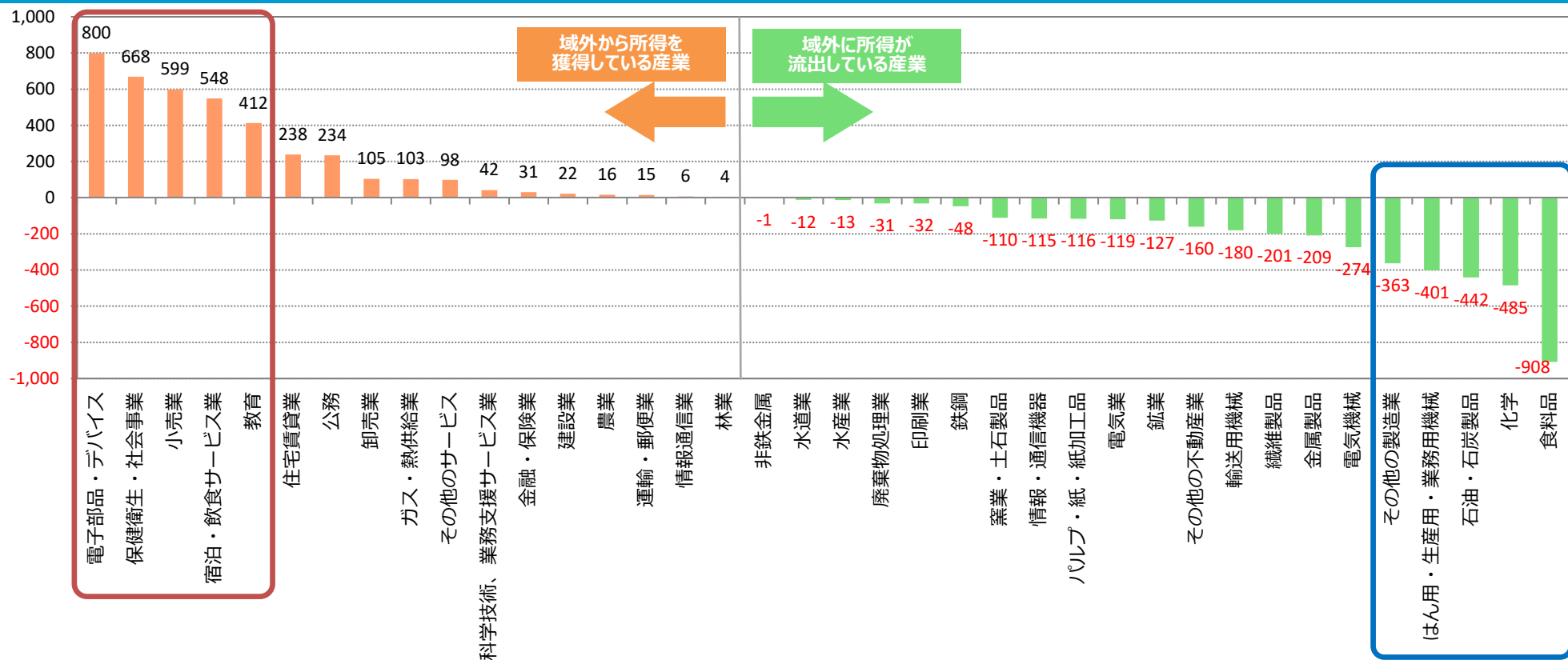
- 純移輸出額がプラスの産業  
(数値及び円の大きさは当該産業の地域内生産額)
- 純移輸出額がマイナスの産業  
(数値及び円の大きさは当該産業の地域内生産額)
- 当該産業(矢印始点)が他の産業(矢印終点)に販売した財・サービスの総額が地域内総生産額の0.2%以上を占める取引
- 当該産業(矢印始点)が他の産業(矢印終点)に販売した財・サービスの総額が地域内総生産額の0.2%以上を占める、かつ当該産業の地域内生産額の30%以上を占める取引

(出典) 観光省「地域経済循環分析」データを元に九州経済産業局にて加工

# 移出入額の分析 域外からの「稼ぐ力」が第三次産業を支える

- 産業中分類別にみたとき、**移輸出超過額が最も大きな業種**は「**電子部品・デバイス製造業**」であり、「**保健衛生・社会事業**」「**小売業**」「**宿泊・飲食サービス業**」「**教育**」などの第3次産業がこれにつく。
- **移輸入超過額が最も大きな業種**は「**食料品製造業**」であり、「**化学**」「**石油・石炭製品**」「**はん用・生産用・業務用機械**」などの製造業がこれにつく。

2018年 宮崎市 産業中分類別純移輸出額（億円）



(出典) 観光省「地域経済循環分析」データを元に九州経済産業局にて加工

# 政策データ分析(RESAS)に基づく示唆

- 宮崎市は、**第3次産業に特化した産業構造**を有している。  
第3次産業が活性化するためにも、**製造業などの外貨を稼ぐ産業の育成が必要**。

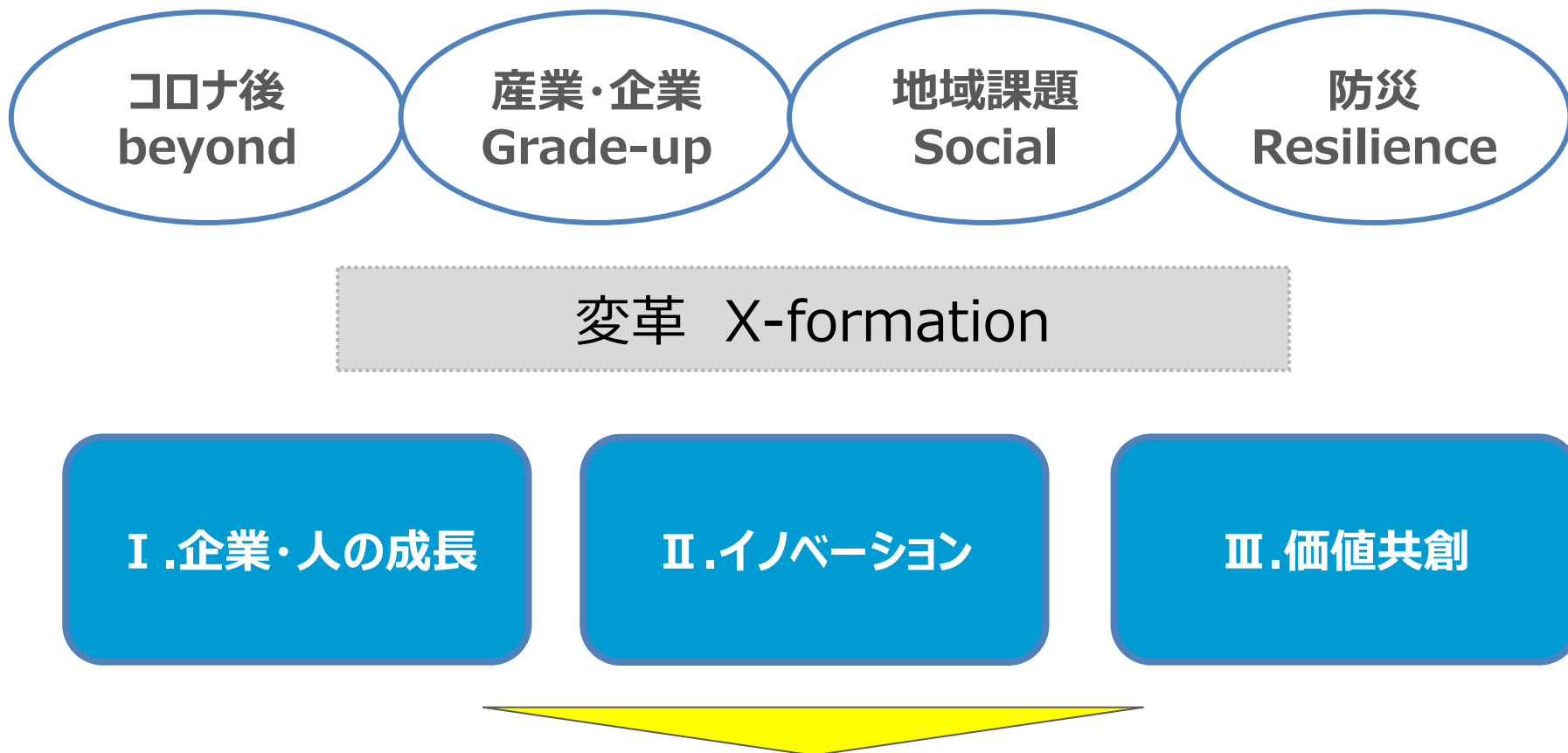
※ 観光客を増やす事により、飲食・宿泊サービス業等を通じて外貨を獲得することも可能。

- 宮崎市は、概して労働生産性（一人当たり付加価値額）が低く特に第2次産業において顕著。**第2次産業を中心に労働生産性を高めることで、市全体の経済活性化が可能**。

※「労働生産性」を高めるためには、①商品・サービスの差別化などにより競争力を高めるか、②機械化・自動化等によるコスト削減による利益率の向上 ⇒ DX

- ✓ 宮崎市企業はチャレンジしているか？（支援策の活用状況）
- ✓ 企業・ヒト・産業の意欲を高めるには？
- ✓ ヒトや情報がつながっているか？

# 宮崎市の成長に向けた視点



強靱で活力ある open city 宮崎

# I. 企業・ヒトの成長

## 挑戦する企業や人を応援する

### 戦略的 企業支援

- 域外から外貨を獲得する企業や地域に雇用や域内取引を生み出し、宮崎経済を力強く牽引する企業支援。

○参考:宮崎市企業の補助金活用状況

- 重点企業の選定と伴走支援
- 金融機関との連携
- ロボット導入・DX推進
- 進出企業・立地企業のサポート

#### 企業の経営変革を後押し

- ・独自支援メニューの検証
- ・変革意欲の惹起
- ・国等の支援制度の活用(事業再構築・ものづくり補助金)

### 多様な ヒト支援

- 若者・移住者から選ばれるフレンドリー都市の魅力の再認識。  
「なぜ宮崎なのか?」宮崎市でのやりがいの解像度をあげる(「20do」の先へ)。

- クリエイター人材/デジタル人材
- 女性・アトツギ
- 副業・移住・UIターン
- リスキング

#### ヒトの挑戦に寄り添い、well-beingの追求

- ・デザイン、クリエイティブ人材へのインセンティブ
- ・若者への訴求とともに、戦略的なDX・IoT人材育成も

# 宮崎市:事業再構築採択企業数(123社)

(株)一平	サスティア(株)	(株)ベジフル宮崎	b e l l s 合同会社
(株)教育情報サービス	(有)田中屋ドライ	インド料理 サジョワン	(株)バッグのあつた
(株)ホテル林荘宮崎	B L U E O W L	(株)プログレッソ	合同会社カネック
(株)プラスソレイユ	(株)宮崎南印刷	にしむら歯科医院	太陽
(株)CHAMELEON	(株)エル・イー・ビー	(株)源工務店	(有)田中漬物
(株)BASEMENT	(株)AOBA	(株)ヘラクレスジャパン	(有)TOPIKA
ジュンクオーレ	(株)ケイ・アイ・シー企画	(有)錦屋衣裳店	憶精機(有)
(株)あとひき本舗	(有)丸岩石油	ディッシュファイブ	(有)戸敷興業
(株)プログレッソ	(株)白雉	保険のかわの	一口餃子の大明神
(有)大野屋	(株)九州築地	合同会社ムスビ	(株)ネイバーフッド
エースランド(株)	(有)ユニバーサルフィールド	一般社団法人yoshiko	(有)宮崎潜水
(株)YAKINIKU-	ヒラサワプレジジョン(株)	foot and body	(株)Have fun Fa
FACTORY	(株)かみむらスポーツ教室	academy	ctory
太田歯科医院	(有)長友ビニールハウス	(株)FREEPOWER	相馬工業(株)
(株)ハンク・ディーシー	(株)凌駕	(株)IKOMA	合同会社TACOJIMA
(株)FLAP	(有)鋳脈社	アイコムティ(株)	FARM
(有)ダスキン佐原	合同会社ももてつグループ	石田トーヨー住器(株)	(株)田中書店
アングルデイヴズトレーディング(株)	(株)m iyoshi	(有)鈴木フーズ	太一
ごんげんの森歯科医院	PARADISO合同会社	フェニックス通商(有)	スナックDOLCE
(株)VI-HAPPY	(株)藤ノ家	大島車輛(有)	CAMedisn(株)
(株)食品検査・研究機構	五味八珍	合同会社FIRST	(株)こどもヒーローズ
(株)エーディーピー	EAT GOOD JAPAN	(株)ショッピングセンター坂元	サンテルキッチン
(有)文喜	(株)アップライジング	(株)ソリューションズ	(有)オルカス
トミマル	(株)コンフォートダイナー	ミートデミート	(株)南九州プロジェクト
(株)ラブ	(株)エムズ	(株)S・H・G	(株)アイティーホールディングス
(株)よしみカメラ	(株)宮崎なかむら農園	(株)宮防	(有)花びら
(株)Soul Foods Comp	あータウンオートモーティブ(株)	(株)矢野興業	大和物産(株)
ny	(有)K・I印刷	(株)マスマヤ	K・Pクリエイションズ(株)
(株)八九	伸洋土木(株)	(株)りょう	(有)街乃蔵
(株)岡崎組	(有)こびとの村	nikoniko(有)	(有)桑畑青果
みなとやクリーニング	(株)宮崎ドライビングスクール	(株)アルファー	井上光産業
(有)宮下	(有)藤元自動車工場	(株)環境ソリューション宮崎	(株)ノチデ
		MHD	

# 事業再構築採択企業例

事業再構築で自動車業界向けの動力加速器（FG4）の開発・事業化に取り組む。モーターの効率を大きく高める。

再構築  
No.

## 19 株式会社FREE POWER

# 研究開発 # 動力加速器 # 脱炭素 # モビリティ

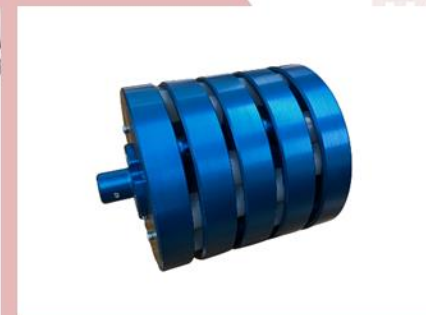
現状 輸送用機械器具製造業

自転車用ギア等の研究開発を行っており、長年の研究を重ね、高い加速性・エネルギー変換効率を誇るギアクランクシステム「フリーパワー-FG1」（旧名エコギア）を商品化。通勤時の密を回避する自転車需要の増加や脱炭素の動きも追い風となり、他社の追随を許さない。一方、新型コロナウイルスや世界情勢の影響により生産・販売に歯止めが。現状から脱却すべく、自社の技術を活かした事業再構築に挑戦する。

成長イメージ

経営資源の再配分を行うことで、海外展開を見据えた自動車業界向けの動力加速器の研究開発及び事業化に注力。省エネルギーを実現する当技術は、従来のガソリン車のみならず電気自動車や水素電池車、電動キックボードなど脱炭素に対応した多くのモビリティに対応可能であり、今後の市場拡大が期待される。

当社のオンリーワン商品である自転車向け「フリーパワー-FG1」が、新型コロナウイルス感染症等の影響により生産・販売面に重大な問題が生じている。そこで、自動車向け「動力加速器」を新たに開発して売上回復及び経営安定化を図っていく。



フリーパワー-FG1及び動力加速器。  
抵抗を動力に変換する独自の機構を持つ。

VOICE

中小企業にとって開発における先行投資はリターンが無い段階の投資であり資金的に厳しい状況であるが、補助金の活用により比較的負担が軽減された。

POINT

認定支援機関と細やかに打合せを行い申請を進めることで、滞りなく事業を遂行することができた。

会社概要

代表者：浜元 陽一郎 / 住所：宮崎県宮崎市吉村町曾師前甲3 1 7 2 番地 2  
資本金：2,860万円 / 従業員数：3人 / TEL：098-532-1362  
Mail：info@fp15.com / HP：http://free-power.jp/

新市場（自動車産業）への参入による事業の再構築  
新商品（動力加速器）の開発及び



# 宮崎市:ものづくり補助金採択企業数(98社)

(有)佐土原機械  
(株)富永鋼建  
ナンテック(株)  
マイクロエース(株)  
(株)F・C  
(株)宮防  
(株)アシストユウ  
ごんげんの森歯科医院  
hairfaceCOLORBAR  
Beer Market BASE  
條徹建装(有)  
八幡屋商工(有)  
(有)ナップ  
(有)サングラビア  
(有)豊包装  
(有)平松建商  
北一(株)  
(株)HDS  
松本歯科医院  
(株)熱田本店  
(有)あがりお畳  
(株)教育情報サービス  
サスティア(株)  
富士圧送(株)

(株)あうわ  
宮崎紙工印刷(株)  
(有)松尾ボーリング工場  
(有)新垣ミート  
(株)イート  
(株)測進開発  
新サンフード工業(株)  
(有)モトショップ ウイリー  
(株)山洋製作所  
(株)モリタ  
(株)親協  
(株)加藤えのき  
(株)九州建設サポート  
丸一鮮魚(有)  
(株)中神青果  
(株)ひむか屋  
(株)正和製作所  
相馬工業(株)  
(株)巧研  
(株)食品検査・研究機構  
(有)大和自動車工業  
(株)器  
OkazakiFood(株)  
(株)九州建設サポート  
(株)九州ロード  
(株)SAKU

(株)エムズ  
(株)ビーアンドエム  
(株)金本組  
(株)ハニー  
(株)ベルコード  
(有)谷山機械製作所  
(有)金豊  
太田歯科医院  
(有)ボールパークドットコム  
シリコンライブラリ(株)  
村田(株)  
(有)いろは企画  
ランバー宮崎協同組合  
(有)旅工房  
(有)末原産業  
(有)三森特殊印刷社  
(有)産機サービス  
(株)マスタリィデンタルラボ  
(有)豊包装  
(有)甲斐工業  
(有)相生建設  
(株)はとや  
(有)エンゼルファーマシー  
道本食品(株)

(有)黒木板金  
(有)永峰観光バス  
(有)成松工務店  
石田トーヨー住器(株)  
田島歯科クリニック  
K・Pクリエイションズ(株)  
(株)FREEPOWER  
うちうみハーブ園  
上山歯科医院  
八幡屋商工(有)  
(株)アート板金工業  
(株)自然館  
合同会社TACAJIMA FARM  
(有)田中漬物  
ふるさとや福永トーフ店  
ライフクリエイト宮崎(株)  
西日本アルミ建材(株)  
インド料理 サジヨワン  
(株)測進開発  
(株)wood's  
(株)エス・サンク  
(株)Power Woman  
(株)金本組  
(株)Libertyship

## Ⅱ. イノベーション

### 創り出す。エコシステムを宮崎から

#### スタートアップ支援

- 特色あるスタートアップを輩出する宮崎市の可能性を更に高める。
- 民ベースでできることをつなぎ、スタートアップ環境を高める。

○参考:「宮崎市のJ-Startup企業」

- クラウドファンディング
- キャピタル連携
- アクセラプログラム
- コミュニティ再構成
- アトツギ
- ふるさと納税
- メンター

#### 地域をつなぎ盛り立てる仕組み再構築

- ・発信力を高め、コミュニティを浮きぼりにする(見える化)
- ・キーパーソンとなる先達者の存在、ベクトル合わせをプロモート
- ・コロナ後の宮崎で外部とつなぐ、フラッグシップイベント

#### 産学連携

- 市内4大学との連携や大学リソース活用を進化させる。
- 科学技術ベースの知を活かした付加価値創造の取り組み。

- 新産業創造(企業・研究)
- 食・6次化
- R&D施設誘致
- 新学部

#### 地域の資源活用と新たな付加価値の創出

- ・知の源泉を活かした産学官連携2.0からバージョンアップ

# 宮崎市のJ-Startup企業



J-Startup



ひむかAMファーマ株式会社



J-Startup  
KYUSHU

SMOLT

株式会社Smolt

ATOMica

株式会社ATOMica



SUNAO

株式会社SUNAO製薬



ONE STEP

株式会社ワン・ステップ

# Ⅲ. 価値共創

## well-beingな宮崎づくりへ、官民共創の成長モデル

### ソーシャル

- 共創型の成長モデル志向へ。市の課題を洗いだし企業力を借りながらビジネスを通じて解決。
- 農業やヘルスケアの実証などを通じていかに市民のWell-beingを追求するか。

○参考：宮崎市と連携した共創プロジェクト

#### 特色有る掛け合わせを通じて、well-beingを高める

・宮崎市ならではの課題をスタートアップ等と連携し価値共創

- 官民共創プロジェクト「Social M」
- オープン型事業承継実証事業のヨコ展開
- スタートアップ・域外連携
- レジリエンス

### ブランディング

市民や企業、あらゆる資源の魅力を分析的に把握。いかに発信して、宮崎市の世界観を伝えるか。

#### 効果的なプロモーション、見える化

・豊かな観光資源やヒトの往来、スポーツ・文化を通じた発信

- ステークホルダーを含め、開かれたブランドづくり

# 宮崎市と連携した価値共創プロジェクト

株式会社ライトライト

R4年度採択

経済産業省:地域・企業共生型ビジネス導入・創業促進事業)

## 【実証事業名】

「後継者不在の事業者  
に対するオープンな事業  
承継による第三者承継  
マッチングの実証事業」

## 【地域課題・社会課題】

年間約5万件の廃業のうち、約6割が「黒字廃業」です。億単位を扱う大規模のM&A仲介は数多ありますが、地域を長年支えてきた小規模事業者をサポートする仕組みは現状ほぼなく、取り残された事業の廃業が止まりません。官民一体となった対策が必要です。

## 【プロジェクト内容】

「事業承継マッチングプラットフォームrelay(リレイ)」で事業承継をオープン化。財務的な視点だけでなく、持続可能な強みや魅力を可視化し、共感をベースにした新しい事業承継を実現します。これまでの閉じたイメージを覆し、望まない廃業を減らしていきます。

## 宮崎市における実証事業の活用例（農業分野）



# 【参考】その他のRESAS分析

---

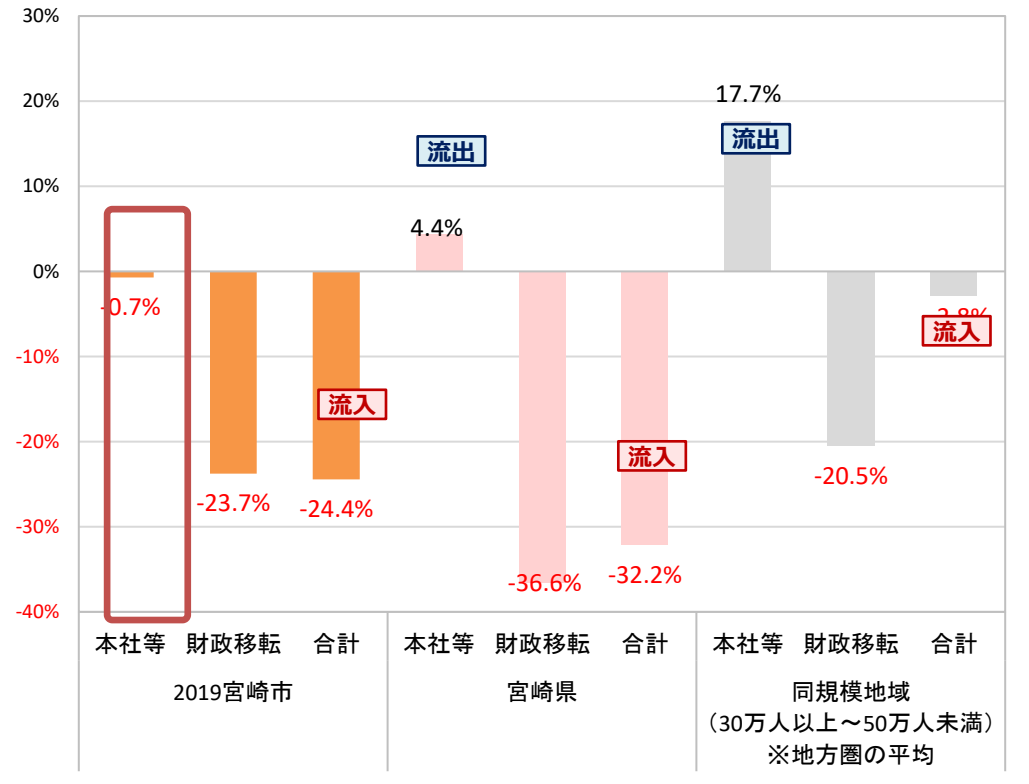
# 分配面分析（一人当たり所得額）

- ・宮崎市の一人当たり所得額は上昇傾向にあるが、いずれの年も全国平均の85%前後であり、全国市町村中の順位も低い。
- ・労働生産性が低いこと（前述）が最大の要因と考えられる（※宮崎県や同規模他地域平均では企業所得が流出超過であるのに対して宮崎市は流入超過であり、全体での所得流入額も大きい）。

## 一人当たり所得額（万円）

年	所得額	全国平均	全国比	全国順位 (1,719市町村中)
2018	381.9	439.6	86.9%	1,517位
2015	369.3	423.3	87.2%	1,471位
2013	338.5	399.7	84.7%	1,513位
2010	341.1	394.8	86.4%	1,438位

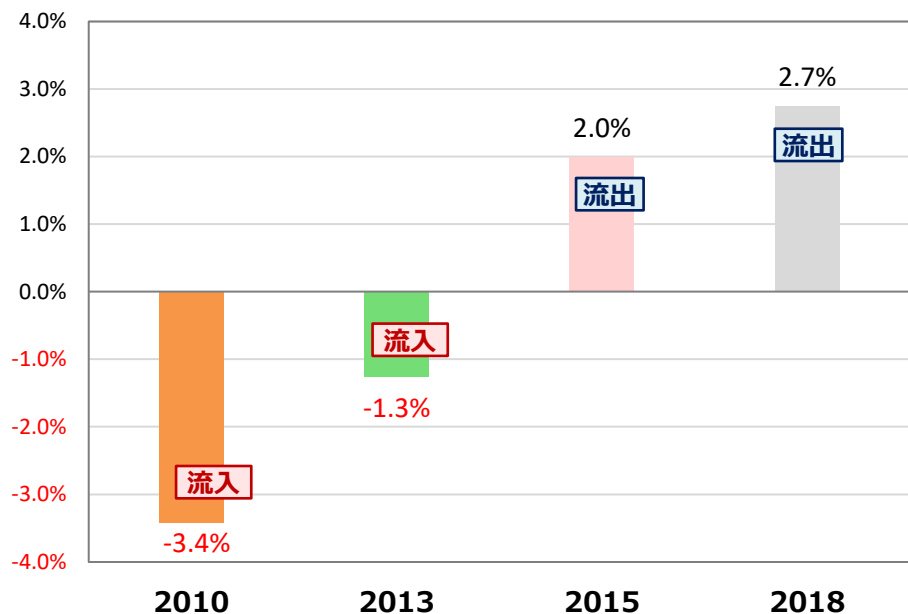
## 企業所得と財政移転の流出率（%）



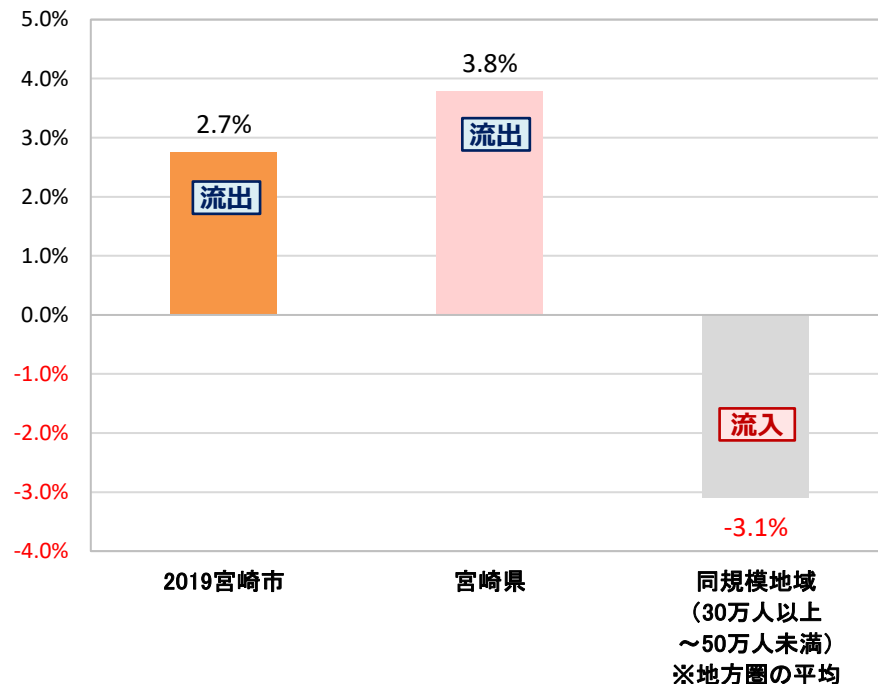
# 支出面分析①（家計消費）

- ・家計における消費額は、2010年は流入超過であったが、**2015年には流出超過**となり、**2018年は超過率も拡大**している。
- ・2019年の宮崎市の消費流出超過率は、宮崎県平均よりは小さいものの、同規模の全国他地域の平均よりも大きい（同規模他地域は流入超過）。

## 宮崎市 家計消費の流出率（%）



## 宮崎市消費流出率の他地域との比較（%）



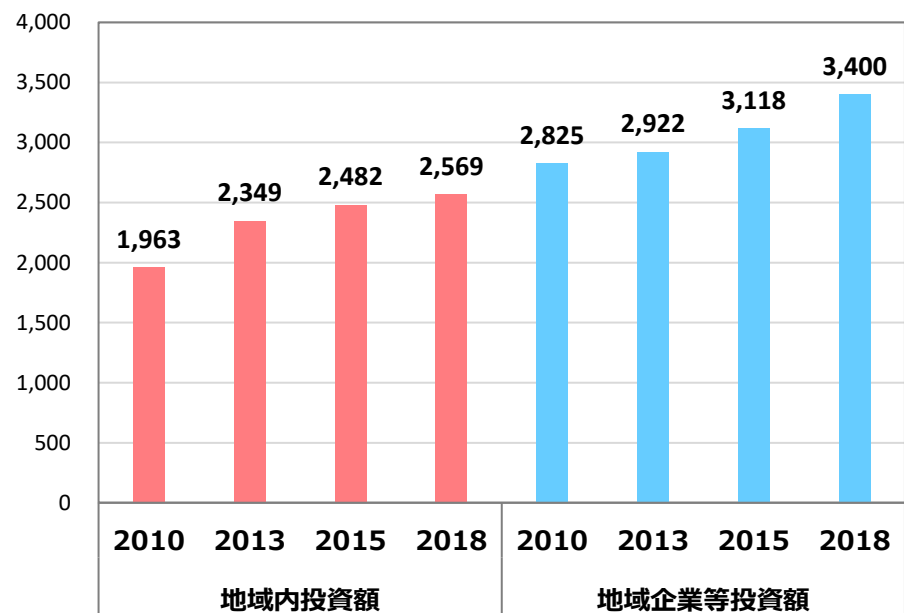
注) 消費の流出率(%) = (地域住民消費額 - 地域内消費額) / 地域内消費額 × 100  
流出率のマイナスは流入を意味する。



## 支出面分析②（企業投資）

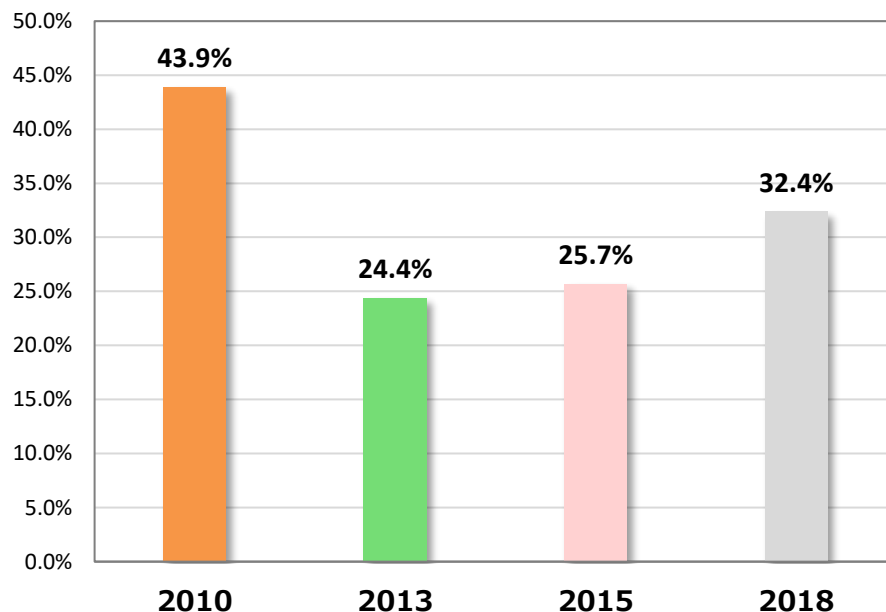
- ・宮崎市内における投資額は増加傾向にあるものの、流出超過が続いている。
- ・2013年から2018年にかけて超過率は拡大している。

宮崎市 投資額（億円）



注) 地域内投資額は、地域内の投資額(誰が投資したかは問わない)を表す。  
 地域内の事業所が域外で生産設備を購入した場合は、地域内の投資額に含まれない。  
 地域企業等投資額は、地域内の企業・住民の投資額(どこに投資したかは問わない)を表す。

宮崎市 投資の流出率 (%)

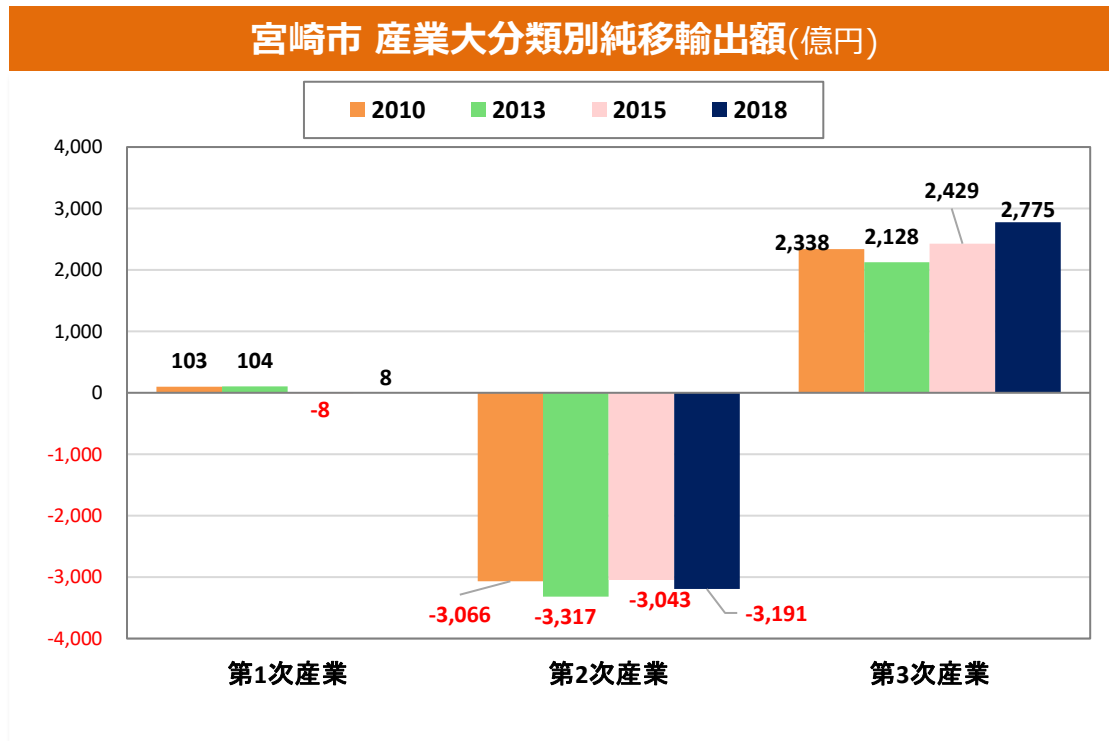
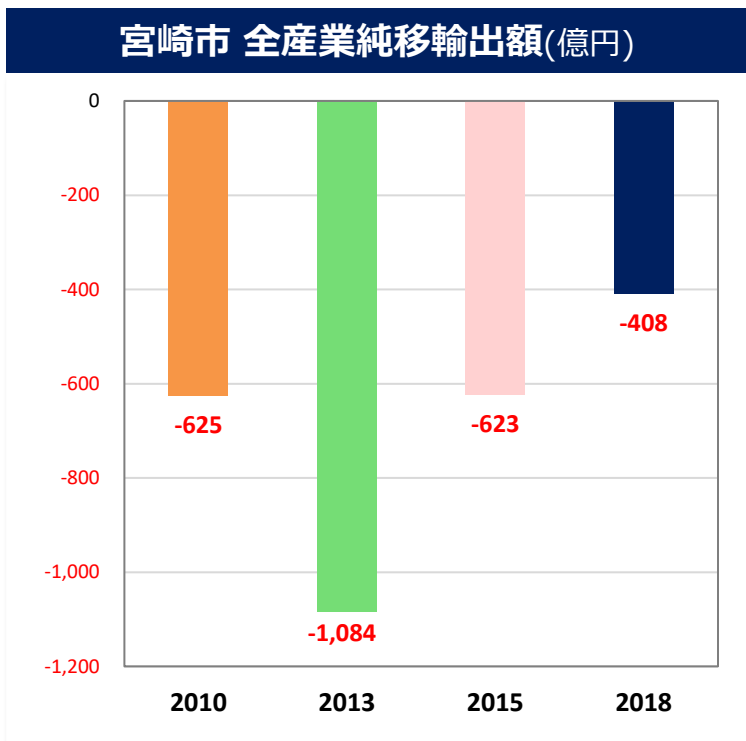


注) 投資の流出率(%) = (地域企業等投資額 - 地域内投資額) / 地域内投資額 × 100  
 流出率のマイナスは流入を意味する。

# 支出面分析③ (移出入額)

・宮崎市内全産業における純移輸出額（移輸出額－移輸入額）は、**移輸入超過**の状況が続いている。ただし、**超過額は2013年以降減少傾向**。

・産業大分類別にみると、**第3次産業は移輸出超過**なるも、**第2次産業の移輸入超過額が上回り**、全体で移輸入超過となっている。また、**第3次産業の移輸出超過額が2013年以降増加傾向**にあることが全産業での超過額減少に繋がっている。



# (参考3) 各業種の内容

No.	本DBの産業分類（38分類）		内 容
1	農林水産業	農業	米麦生産業、その他の耕種農業、畜産業、農業サービス業
2		林業	林業
3		水産業	漁業・水産養殖業
4	鉱業		石炭・原油・天然ガス鉱業、金属鉱業、採石・砂利採取業、その他の鉱業
5	製造業	食料品	畜産食料品製造業、水産食料品製造業、精穀・製粉業、その他の食料品製造業、飲料製造業、たばこ製造業
6		繊維製品	化学繊維製造業、紡績業、織物・その他の繊維製品製造業、身回品製造業
7		パルプ・紙・紙加工品	パルプ・紙・紙加工品製造業
8		化学	基礎化学製品製造業、その他の化学工業
9		石油・石炭製品	石油製品製造業、石炭製品製造業
10		窯業・土石製品	窯業・土石製品製造業
11		鉄鋼	製鉄業、その他の鉄鋼業
12		非鉄金属	非鉄金属製造業
13		金属製品	金属製品製造業
14		はん用・生産用・業務用機械	はん用機械器具製造業、生産用機械器具製造業、業務用機械器具製造業
15		電子部品・デバイス	電子部品・デバイス製造業
16		電気機械	産業用電気機械器具製造業、民生用電気機械器具製造業、その他の電気機械器具製造業
17		情報・通信機器	通信機械・同関連機器製造業、電子計算機・同附属装置製造業
18		輸送用機械	自動車製造業、船舶製造業、その他の輸送用機械・同修理業
19	印刷業	印刷・製版・製本業	
20	その他の製造業	木材・木製品製造業、家具製造業、皮革・皮革製品・毛皮製品製造業、ゴム製品製造業、プラスチック製品製造業、その他の製造業	
21	電気業		電気業
22	電気・ガス・水道・廃棄物処理業	ガス・熱供給業	ガス・熱供給業
23		水道業	上水道業、工業用水道業、（政府）下水道
24		廃棄物処理業	廃棄物処理業、（政府）廃棄物
25	建設業		建設業
26	卸売・小売業	卸売業	卸売業
27		小売業	小売業
28	運輸・郵便業		鉄道業、道路運送業、水運業、航空運輸業、その他の運輸業、郵便業、（政府）水運施設管理、航空施設管理（国営）
29	宿泊・飲食サービス業		飲食サービス業、旅館・その他の宿泊所
30	情報通信業	通信・放送業	電信・電話業、放送業
		情報サービス・映像音声文字情報制作業	情報サービス業、映像・音声・文字情報制作業
31	金融・保険業		金融業、保険業
32	不動産業	住宅賃貸業	住宅賃貸業
33		その他の不動産業	不動産仲介業、不動産賃貸業
34	専門・科学技術、業務支援サービス業		研究開発サービス、広告業、物品賃貸サービス業、その他の対事業所サービス業、獣医療業、（政府）学術研究、（非営利）自然・人文科学研究機関
35	公務		（政府）公務
36	教育		教育、（政府）教育、（非営利）教育
37	保健衛生・社会事業		医療・保健・介護、（政府）保健衛生、社会福祉（非営利）社会福祉
38	その他のサービス		自動車整備・機械修理業、会員制企業団体、娯楽業、洗濯・理容・美容・浴場業、その他の対個人サービス業、（政府）社会教育、（非営利）社会教育、その他

# (参考4) 人口の増減と構成

